

平成 26 (2014) 年さけます来遊状況 (第 4 報 : 10/31 現在)

4 サケ年齢組成と体サイズ

独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道の 10 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2010 年級) が前年および
平年*¹ を下回り、5 年魚 (2009 年級) は前年および平年並み～若干少ない
- 現時点で 5 年魚の来遊数が最も多く、4 年魚がそれに続く
- 北海道の太平洋側 (根室～えりも以西海区) および日本海側 (オホーツク海区及び日本
海区) とともに 4 年魚が 1994 年以降ではそれぞれ 2～3 番目の少なさ
- 今年の 4 年魚である 2010 年級は 1992 年級以降で最も少ない
- 両地域とも、3 年魚 (2011 年級) が前年および平年同期を上回る
- 北海道のサケの平均重量は 3.49kg で、近年では平成 21 (2009) 年～平成 22 (2010) 年
に近い水準

*¹: 平年とは、平成 6 (1994) ～平成 25 (2013) 年の平均値

・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに、10 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2010 年級) は前年同期 67%、平年同期 53% であり、前年および平年に比べて少なくなっています。5 年魚 (2009 年級) は前年同期 94%、平年同期 91% であり、4 年魚ほどの減少は認められません。その結果、今年は現時点で 5 年魚の来遊数が最も多く (51%)、4 年魚がそれに続きます (37%)。昨年にひき続き、6 年魚 (2008 年級) も平年同期 135% と多くなっていますが、前年同期との比較では 68% と前年よりも少ない状況です。一方、3 年魚 (2011 年級) は前年同期 218%、平年同期 110% と前年ならびに平年を上回る状況です (図 1)。

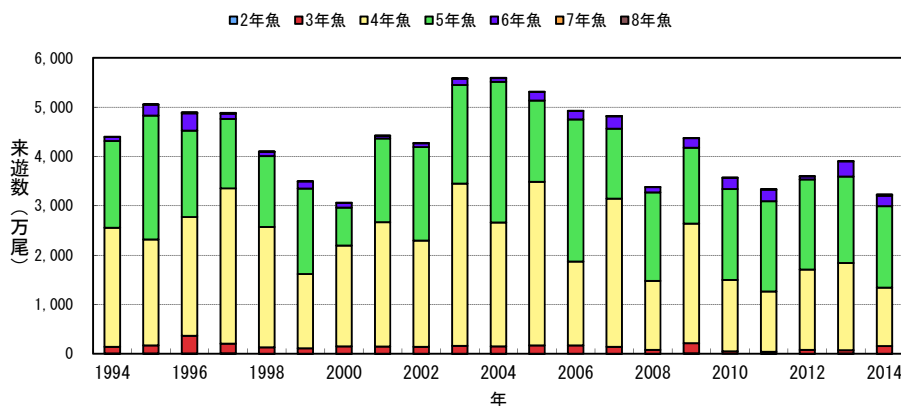


図 1. 10 月末時点のサケ年齢別来遊数 (北海道).

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2010年級は、4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、1992年級以降では最も少ない状況です（図2）。また5年魚である2009年級は、直近の2006年級以降とほぼ同じような水準です。現時点で来遊の多い3年魚（2011年級）は、1992年級以降の平均の111%あまりとなっています。

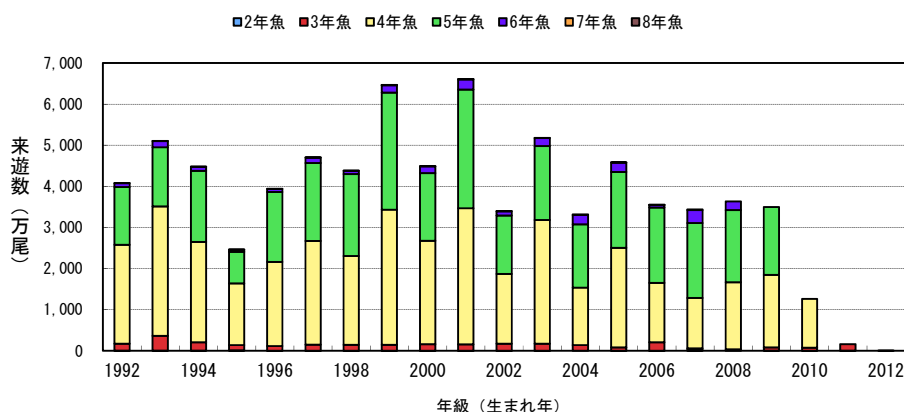


図2. 10月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）。

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚が前年同期69%、平年同期42%と少なく、1994年以降では2番目に少ない状況ですが、5年魚は前年同期115%、平年同期85%と前年よりも多くなっています（図3）。日本海側（オホーツク海区及び日本海区）の4年魚は前年および平年同期のそれぞれ約7割と少なく、1994年以降では3番目の少なさです。日本海側の5年魚は前年同期81%と前年よりは少ないですが、平年同期97%とほぼ平年並みです（図4）。また、今年は両地域で3年魚（2011年級）が前年同期よりも多く（175～282%）、平年同期と比べても108～112%あまりになっています。

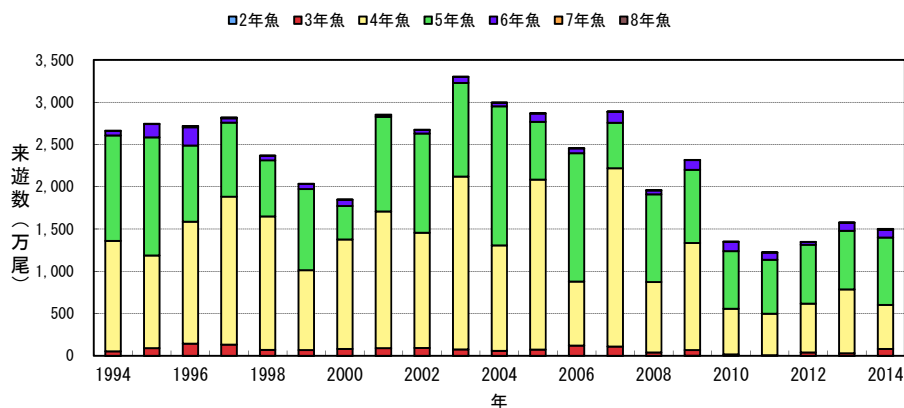


図3. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）。

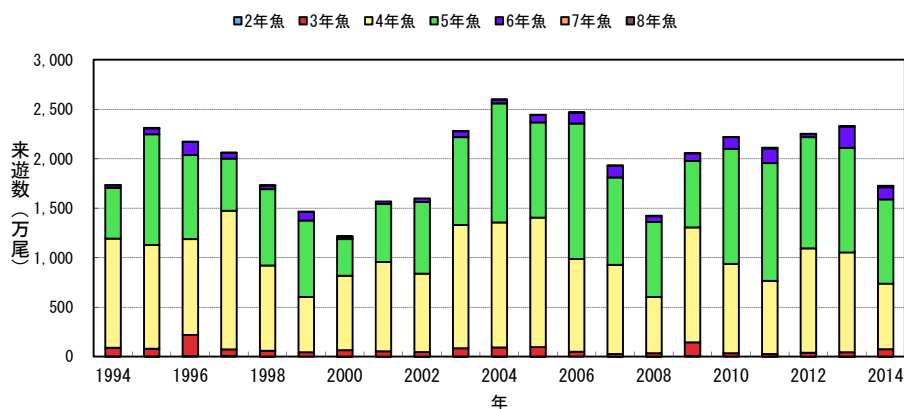


図4. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）。

・サケの体サイズ

北海道における 10 月 31 日現在のサケ 1 尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は 3.49kg であり、これは前年同期比の 104%に相当します。平成元(1989)年～平成 25(2013)年の同時期（10 月末時点）における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは近年では平成 21（2009）年～平成 22（2010）年に近い水準となっています（図 5）。

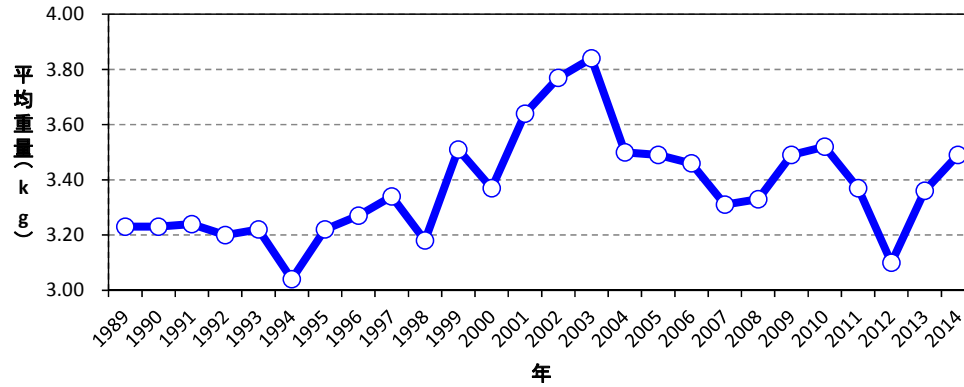


図 5. 10 月末時点のサケ平均重量（北海道）.